

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun 稲雲

令和6年度 第6号

令和6年7月1日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○今年度もお世話になります

6月13日(木)に、第1回地域運営協議会を開催しました。13名の委員の方に参加していただき、委嘱状の交付、組織編成の後、学校経営方針等について協議しました。子どもたちのために学校や地域ができることを考え、教職員の働き方や、通学路の安全などについて有意義な話し合いをすることができました。今年度も学校運営にお力添えをいただきながら、よりよい学園作りを進めてまいりたいと思います。



○最後の瞬間まで勝利を信じて戦う姿に感動しました

6月18日(火)・19日(水)に、令和6年度県中地区中体連総合大会の各競技が開催されました。生徒達は、県大会出場をかけて、全力で試合に臨みました。これまで積み上げてきた努力を信じて、チームの目標に向かって諦めることなく、最後まで全力で戦い抜く姿に感動するとともに、悔し涙や嬉し涙を流す姿に、これまで積み上げたものの大きさを感じることができました。

【結果】 バドミントン部が団体、女子ダブルスで県大会に進出しました。

- バドミントン部 女子団体 第3位、女子ダブルス 第3位
女子シングルス 1回戦 惜敗
- 野球部 1回戦 惜敗(延長8回タイブレーク)
- 卓球部 男子団体 1回戦 惜敗
男子シングルス 2回戦、男子ダブルス 2・3回戦 惜敗

バドミントン競技の県大会は、いわき市総合体育館を会場に、7月22日(月)に個人戦(1・2回戦)、23日(火)に団体戦、24日(水)個人戦(3回戦以降)が行われます。



○希望者が18名もいました!!

6月10日(月)に本年度の稲田地域ジュニアボランティア養成講座の開講式が行われました。7年生から9年生までの18名が希望して参加します。開講式では、稲田コミュニティセンターの所長さんからあいさつをいただき、生徒一人一人からは、地域のために尽力したいという意気込みなどを発表しました。誰かのためにがんばろうとする生徒から頼もしさを感じました。12月までの活動が充実したものであることを期待しています。



○命の大切さを学びました

6月19日(水)に、助産師さんをお招きして、性教育の授業を行いました。赤ちゃんの人形を抱っこすると、児童からは「重い」という驚きの声が上がりました。一人一人、大切に、そっと赤ちゃんの人形を抱っこして、次の人に手渡す姿が印象的でした。また、講師の先生から、自分らしく生きることの意味や、自分の命は自分で守ることの大切さも教えていただきました。



○私立高校説明会を実施しました

6月25日(火)に、私立高校説明会を実施しました。日本大学東北高等学校、帝京安積高等学校、尚志高等学校、郡山女子大学附属高等学校の先生においでいただき、各校の特色等について説明していただきました。これから進路選択をする9年生は、真剣に耳を傾けていました。「15の春」を笑顔で、そして納得して迎えることができるように、生徒達を支援していきたいと思えます。



○キャリア教育を実施しています

6月25日(火)・26日(水)の2日間で須賀川市内10の事業所で、8年生が職場体験を行いました。体験後の8年生の表情からは、充実感や達成感、働くことの大変さを学んだことが伝わってきました。7年生は26日(水)に地域の企業の方々をお迎えして職業講話を行いました。様々な職業について理解を深めること、実際に働くことを通して、大変さや、やりがいを感じる事が、職業観を育み、自分自身の未来を切り拓くことにもつながると考えています。今回身に付けた力や感じたことを、今後の学校生活や進路選択に生かしてほしいと思えます。



【7年生の職業講話の様子】

【8年生の職場体験の様子】

○幼小の連携を推進しています！

6月17日(月)に、5・6年生の図書委員会の児童が稲田幼稚園を訪問し、絵本の読み聞かせをしてきました。七夕の話をブラックシアターで行うと、園児はみんな真剣に聞いてくれました。児童達は「きれいな天の川を見ることができるといいな。また、幼稚園に読み聞かせに来るね。」と言って帰ってきました。たくさん練習した成果が発揮でき、園児のみなさんにも楽しんでもらったこと、本当に嬉しかったです。

また、25日(火)には、幼小連携授業参観を行い、幼稚園の先生方に、稲田学園の授業や清掃の様子を参観していただき、その後の協議会で意見交換を行いました。

